

歯科衛生士のための

口腔機能低下症入門

～ 診療室で活かす「気づき・評価・支援」～

GC



加齢に伴う口腔機能低下の重複を意味するオーラルフレイルは、「年のせい」と片付けられたり、無意識に柔らかい食品を選択するなどの本人なりの対処により、初期には自覚症状に乏しいのが特徴です。オーラルフレイルの状態が徐々に進行し医学的管理が必要となる口腔機能低下症の状態は、将来的に低栄養やフレイル・サルコペニアに進展し、健康寿命にも影響を及ぼすこととなります。

今回の診療報酬の改定では、口腔機能実地指導料が新設され、口腔機能管理における歯科衛生士の役割がますます期待されています。そこで本ウェビナーでは、これから始めようと考えている、もしくは取り組み始めたばかりの歯科衛生士の方に向けて、口腔機能低下症の気づきと評価方法、チェアサイドでの管理・指導のポイントについて解説したいと思います。

2026

7.29 水

19:30 ~ 21:00

※終了時刻は質疑応答時間によって前後いたします。
※お申込者を対象に見逃し配信を予定しておりますので、当日ご視聴いただけない方もお申込み下さい。
※講演内容は変更になる場合がございます。

申込期限 7月27日



お申込はコチラ ▶

事前質問受付中!

お申込時に講師への事前質問を受付けています!
(事前質問 〆切 7/20)

舌圧測定器
JMS 舌圧測定器
TPM - 02



舌圧測定器
JMS 舌圧測定器
管理医療機器
ZZ200BZX00758000

咀嚼能力検査装置
グルコセンサー
GS-IIIN



グルコース分析装置
ジーン グルコセンサー
GS-IIN
一般医療機器
特定保守管理医療器
13B1X00155000311

ポイント

- 口腔機能管理がめざすもの
- 日常臨床での口腔機能低下への気づきと検査の実際
- 行動変容につながる口腔機能管理指導のヒント

※本セミナーに配布資料はございません。

受講料

無料

定員

100名

※定員となり次第締切とさせていただきます。

開催方法

Zoom 配信

- ※ お申込完了後、ZoomのアクセスURLをお送りいたします。
- ※ 快適に視聴できる環境をご用意ください。
- ※ お使いの通信環境によりご視聴いただけない場合がございます。

< 略歴 >

- 1998年 東京医科歯科大学 (現：東京科学大学) 歯学部附属歯科衛生士学校 卒業
- 2014年 東京医科歯科大学 (現：東京科学大学) 大学院修了・博士 (歯学)
東京医科歯科大学大学院 (現：東京科学大学) 口腔健康教育学分野 講師
- 2019年 東京都健康長寿医療センター研究所 専門副部長
- 2024年 宮城高等歯科衛生士学院 教務主任
東北大学大学院歯学研究科
加齢歯科学分野 非常勤講師



講師

小原由紀 先生

ご注意ください

メールが届かないというトラブル防止のため、「@eventpay.jp」と「@zoom.us」のドメインからのメールが受信できる設定していただけますようお願いいたします。上記の設定をいただけなかったことにより申込確認及び当日参加 URL が記載されたメールが受信できなかったとしても弊社は一切の責任を負いかねます。ご登録いただいた個人情報は、セミナー運営や弊社の商品に関するご案内等に活用させていただきます。いただいた個人情報は記載の目的において弊社グループ会社及び弊社販売店に提供することがございます。

お問い合わせ
平日 09:00 ~ 17:00

株式会社 ジーシー

〈支店〉 ● 東京 03-3813-5751
〈営業所〉 ● 北海道 011-729-2130
● 名古屋 052-757-5722

● 大阪 06-4790-7333
● 東北 022-785-8040
● 九州 092-441-1286